

救急医療のご案内

1 近くの医療機関(記入しておきましょう)

名 称

所 在 地

電話番号

※日頃から、何でも相談できる「かかりつけのお医者さん」を決めておきましょう。

2 小児救急電話相談

毎日午後7時から翌日午前8時まで。

看護師(難しい事例は小児科医)による救急電話相談を行っています。

電話番号 #8000 又は **052-962-9900**

3 救急医療情報センター

24時間365日体制で、電話による医療機関の案内を行っています。

名古屋 052-263-1133	西 岡 0563-54-1133	半 田 0569-28-1133
瀬 戸 0561-82-1133	設 楽 0536-62-1133	豊 田 0565-34-1133
春日井 0568-81-1133	田 原 0531-23-1133	刈 谷 0566-36-1133
高津市 0562-33-1133	津 島 0567-26-1133	新 城 0536-22-1133
岡 崎 0564-21-1133	一 宮 0586-72-1133	豊 橋 0532-63-1133

4 あいち救急医療ガイド

インターネットで診療可能な医療機関を検索できます。

ホームページアドレス <http://www.qq.pref.aichi.jp/>

5 日本小児科学会のホームページ「こどもの救急」

お子さんの症状に応じた対処方法が表示されます。

ホームページアドレス <http://kodomo-qq.jp/>

6 公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番・電話サービス(一般向け)

大阪中毒110番 072-727-2499 (365日 24時間対応/情報提供料・無料)

つくば中毒110番 029-852-9999 (365日 9時~21時対応/情報提供料・無料)

タバコ専用電話 072-726-9922 (365日 24時間対応/テブによる情報提供/情報提供料・無料)

※化学物質(たばこ、家庭用品等)、医薬品、動植物の毒等によって起こる急性の中毒について、
即応手当などの緊急情報を提供しています。

問い合わせ 愛知県健康福祉部 保健医療局 医務国保課 TEL 052-954-6628

平成27年9月発行

子どもの病気

ワンポイント
アドバイス



愛知県

協力/愛知県医師会
監修/愛知県小児科医会



● 発熱 ● 下痢 ● 嘔吐 ● せきぜーぜー ● 発疹 ● 頭を打った

38度以上の発熱で…

- ☐ 生後3ヶ月未満である。
- ☐ 元気がなく、ぐったりしている。
- ☐ 無表情で活気がない。
- ☐ 一日中ウトウトしている。
- ☐ 水分をとるのをいやがり、おしっこがでない。
- ☐ 顔色が悪く、呼吸が苦しそう。
- ☐ 生まれて初めてけいれんがあった。

左記の項目のうち
「はい」が1つでもあれば
すぐにお医者さんへ



左記の項目のうち
「はい」がなければ

診療時間内
にお医者さんへ

室温が高すぎたり、
厚着をしている時、
薄着にして平熱になるなら

心配ない



- 発熱の大半は身体に入ってきたウイルスや細菌を退治するため身体が作り出す最も有効な反応です。熱があっても解熱剤はできるだけ使わずに様子を観察する。
- 熱が高いときは、嫌がらなければ頭部やわきの下などを冷やし、気分をやわらげる。

- 部屋の温度と湿度を快適にし、汗をかかないようにして体力の消耗を防ぐ。
- 食欲のないときは、アイスクリーム、ヨーグルト、牛乳やスープなど栄養価の高い食べ物を工夫して少しずつ与える。
- 体温は朝昼夕など1日3回ほど定期的に測定し、平熱に落ち着くまでは外出を避ける。

げり 下痢



- 発熱
- ☒ 下痢
- 嘔吐
- せきゼーゼー
- 発疹
- 頭を打った

- ☐ 元気がなく、ぐったりしている。
- ☐ 便に血が混じる。
- ☐ 活気がない。だるそうにしている。
- ☐ よく眠れず、ウトウトしている。
- ☐ ちょっとした刺激に過敏に反応する。
- ☐ 水分をとるのをいやがり、おしっこがでない。
- ☐ 目がくぼんでいる。
- ☐ くちびるや舌が乾燥している。

左記の項目のうち
「はい」が1つでもあれば
すぐにお医者さんへ



- 普段の半分くらいの水分が飲めている。
- 左記の症状がない。

診療時間内
にお医者さんへ

- 離乳食を開始し新しい食品を食べさせた。
- 機嫌はよい。

心配ない

手当て
の
しかた

- おむつは汚れたらすぐにとり替え、お尻をいつも清潔にしておく。
- 市販の下痢止めを勝手に使わず、医師の診察を受ける。

- 経口補水液などを少量でも頻回に与えて脱水症状などを防ぐ。



● 発熱 ● 下痢 ● ☒ 嘔吐 ● せきぜーぜー ● 発疹 ● 頭を打った

- ☐ 続けて何回も吐く。
- ☐ 便に血が混じる。
- ☐ お腹がはっている。
- ☐ お腹を押すと強く痛がる。
- ☐ 血液や緑色の液体を吐いた。
- ☐ 元気がない。
- ☐ いつもと違う様子である。
- ☐ 頭を強く痛がる。
- ☐ おしっこがでない。
- ☐ くちびるが乾いている。
- ☐ ボーッとしていたり、
ちょっとした刺激に過敏に反応する。

左記の項目のうち
「はい」が1つでもあれば
すぐにお医者さんへ



左記の項目のうち
「はい」がなければ

診療時間内
にお医者さんへ

せき ゼーゼー



● 発熱 ● 下痢 ● 嘔吐 ● ☒ せきゼーゼー ● 発疹 ● 頭を打った

- ☐ 声がかすれる。
オットセイの鳴き声みたいにせき込む。
- ☐ ゼーゼー、ヒューヒューいう。
- ☐ 息苦しそうである。
- ☐ 39度以上の高熱がある。
- ☐ 呼吸がはやい。
- ☐ ぐったりしている。
- ☐ 水分をとりたがらない。
- ☐ 口の周りや顔色が悪い。

左記の項目のうち
「はい」が1つでもあれば
すぐにお医者さんへ



左記の項目のうち
「はい」がなければ

診療時間内
にお医者さんへ



- 加湿器などで鼻の粘膜を湿らせる。
- 家の中でタバコを吸わない。

ほっしん 発疹



● 発熱 ● 下痢 ● 嘔吐 ● せきぜーぜー ● ☒ 発疹 ● 頭を打った

- ☐ かゆみがあり、さらに顔や唇がはれぼったくなった。
- ☐ 息苦しく声がかすれてきた。
- ☐ 薬を飲んだ後に発疹が出てきた。
- ☐ もりあがったリング状の輪が、たくさん出てきた。
- ☐ 発熱があり、機嫌が悪く、目が赤い、唇が赤い。
- ☐ 暗い紫色の小さな点々が膝から下に出ている。
- ☐ 鼻血があったり、関節を痛がる。

左記の項目のうち
「はい」が1つでもあれば
すぐにお医者さんへ



左記の項目のうち
「はい」がなければ

診療時間内
にお医者さんへ



- かゆみがある時は、温めたり引っかかないようにする。
- かゆみがひどい時はかゆみ止めをぬる。

頭を打った



● 発熱 ● 下痢 ● 嘔吐 ● せきぜーぜー ● 発疹 ● 頭を打った

頭をぶつけた後で次の症状が
1つでもあればすぐに**119番へ**

- ☐ 呼びかけても反応が悪い。
- ☐ けいれんを起こした。

救急車を呼ぶ



上記の症状がなくても次の項目のうち
「はい」が1つでもあればすぐに病院へ

- ☐ 手足の動きがいつもと違う。
- ☐ 顔色があきらかに悪い。
- ☐ 何回も吐く。

すぐに病院へ

脳神経外科のある病院が望ましい。
わからなければ救急医療情報センターに聞く。
(巻末ページ参照)

手当て
の
しかた

- 頭から血が出ているときは、出血している部分をきれいなタオルやガーゼでしっかりと圧迫する。
- コブができている場合は、腫れている部分を20分ほど冷やす。

- 当日は外出や入浴をやめて、その後も2～3日間は顔色や歩き方など、いつもとちがった様子がないか観察する。

事故予防

子どもの事故は意外と多いものです。
どんな事故がおこりやすいかを知って未然に防ぎましょう。



新生児	おこりやすい事故	事故の主な原因
	周囲の不注意によるもの	誤って上からものを落とす 上の子が抱き上げてけがをさせたり、 ものを食べさせる

1～6ヶ月	おこりやすい事故	事故の主な原因
	転落	ベッドなどから落ちる
	誤飲・中毒	誤飲で多いもの[たばこ、医薬品、化粧品、洗剤など]
	窒息	タオル、ふとんが顔にかかる [ふとんは硬めのものを選び、うつ伏せ寝はしない]

7～12ヶ月

おこりやすい事故	事故の主な原因
転落・転倒	扉、階段、ベッド
やけど	アイロン、ポットのお湯、ストーブにさわる
溺水	浴槽、洗濯機に落ちる[残り湯をしない]
誤飲・中毒	たばこ、引き出しの中の薬、化粧品、コイン、豆など
車中のけが	座席からの転落[チャイルドシートで防止]

1～4歳

おこりやすい事故	事故の主な原因
誤飲	原因の範囲が広がる、あらゆるものが原因となる
転落・転倒	階段、ベランダ[踏み台になるものを置かない]
やけど	熱い鍋に触れる、 テーブルクロスを引いて湯をこぼす、 熱いシャワーのいたずら
溺水	浴槽に落ちる、水あそび
交通事故	飛び出し事故[手をつないで歩くようにする]、 チャイルドシートの誤った着用